広報 松之山

題字は佐藤町長

発行所 松之山町役場 電話(松之山)110・111 郵便番号 松之山 中郷 ㊥ 943-14

昭和41年度予算総額 二億五千万円

役場庁舎(改築)松之山小屋体(新築)など施工

昭和四十一年度予算概況議会は三月九日、十日、十一日の三日間にわたって町役場で開かれ、総額二億五千百四十二万円を原案どおり可決成立させた。

予算総額はかつてない大型なもので昨年に比べ六千三百十七万円の増となり、世帯当りにすると十二万九千円となる。

歳入の財源としては、町税二千四百万円、地方交付税八千九百万円、土債三千七百万円などでこれに充当することになっている。

新年度の主要な事業は別表のとおりである。

自主財源が乏しく、一千五百万円程度という乏しい町の財政事情にありながら役場庁舎の改築、中小学校の増築を年度に実施しなければならず、氣の部門については経常費の最少限に抑えるという実情である。

従って当初要求された三木役のうち三百万円、教育費二百万円、農業費五十万円などが削減されたほか、議員報酬の改訂がおちつぎのとおりきめられた。

町長七万円、助役五万一千円、収入役五万円、議長一万二千円、議員七千円(以上はいずれも月額)

同日の議会では特別職、議員報酬の改訂がおちつぎのとおりきめられた。

特別職、議員報酬を改訂

松之山小屋体を鉄筋で

浦田中、東川分校の増築も

松之山小学校の屋体新築ほか、浦田中、東川分校、の増築については、町職員、総務文教委員、学校建設特別委員、教育委員合同会議で前後数回にわたる協議の結果それぞれつぎの構想で進められることとなった。

(1)鉄筋百六十五坪(十間の十六間半)これに三十坪(五間の六間)の屋体を新築する。

(2)設計は当日の当番委員が決定する。

(3)四月二十日頃入札によって請負者がきめられる。

(4)工費は本工事千四百六十万円、附帯工事四百六十万円、附帯工事は本工事の同時事業などで、ステージの同時建築は見送られたものである。

浦田中学校ステージ、東川分校牛舎増築によって特別教室を増築するものである。

末造二階建四一五坪(教室)

工費は一百十八万円。

(2)設計は当日の当番委員が決定する。

(3)四月二十日頃入札によって請負者がきめられる。

(4)工費は本工事千四百六十万円、附帯工事四百六十万円。

浦田中学校ステージ、東川分校牛舎増築によって特別教室を増築するものである。

末造二階建四一五坪(教室)

工費は一百十八万円。

いずれも本年五月はじめに着工され、八月末完工の予定である。

松之山小学校屋体

(1)鉄筋百六十五坪(十間の十六間半)これに三十坪(五間の六間)が附属される。

委員会の皆さんに代ってよろしくお願いいたします

町災害復興特別対策委員長 小野塚吉三郎

職業短期訓練所卒業式

三月三十一日松之山職業短期訓練所の終了式が町役場仮庁舎で行われた。

卒業生は小野塚静二氏ほか九名で、高田安定所永越次長から一技能修得証書が授与された。この訓練所は非常年者等を対象に昭和三十八年から開所されたもので本年で第三期になる。卒業生の全部は町内業者などに就職かきまっている。

将来の大計のために

昭和三十七年から相次ぐ町の将来の大計のために、どうしても新年度中に役場庁舎をはじめ、松之山小学校ほか、東川中学増築などを実施したい、という世論になりました。

さる議会においても、この線にそって、事業計画を地すべり大災害により、町民各位には多大な御迷惑をかけ、また、ことに心痛の除に存じます。

災害二月の元すべり復興委員会では、町の財政が非常に乏しい中であるにもかかわらず、復興に協力を惜しまず、この度び新年度はじめにあたり、復興

町の将来の大計のために、どうしても新年度中に役場庁舎をはじめ、松之山小学校ほか、東川中学増築などを実施したい、という世論になりました。

さる議会においても、この線にそって、事業計画を地すべり大災害により、町民各位には多大な御迷惑をかけ、また、ことに心痛の除に存じます。

災害二月の元すべり復興委員会では、町の財政が非常に乏しい中であるにもかかわらず、復興に協力を惜しまず、この度び新年度はじめにあたり、復興

農地災害復旧

松口ほか五地区で

ことしの地すべり農地災害復旧事業は、松口ほか五つの地区で実施されるが、総事業費は四千二百三十一万円で地元負担分はつぎのとおりである。

松口(五・七五ヘクタール)屋敷田(一九・五五)ふけ(八・〇八)八十刈(十八年から開所されたもので本年で第三期になる。卒業生の全部は町内業者などで国の補助率は八七・二%下鯉地(田六・五二畑二・

農業用施設復旧は

下鯉池と猪之名で

また農業用施設復旧は下鯉池と猪之名の二カ所で補助率九六・六%、猪之名地区農道四六一米、総事業費二一六万二千円、補助率九七・八%。

農地災害復旧(二二)補助率八六・二%。

新しい役場庁舎を建てる

木造二階建三千六百万円で

町議会地すべり特別復興委員会(委員長小野塚吉三郎氏)は二月二十五日庁舎復旧建築について協議した。

建築場所はすでに一月の議会で松之山字中の入り(三松屋商店長)に決定しているので当日は庁舎の構造設備などについて協議が行なわれた。

同委員会で決定された新庁舎の構想はつぎのとおりである。

(1)、木造二階建とし、のべ坪数三百五十坪とする(一七間の二十三間)冠取敷地は二百坪であるが、これに庁舎までの取りつけ道路分を合せれば二百坪位になる見込。

(2)設計は魚江津市の山崎設計事務所とする。

(3)九月のはじめに請負業者を定め、完工予定は本年の十月末日とする。

(4)坪当り工事費八万五千円程度とする。

(5)東向きの庁舎とし、東、南、北の三方からはいれるように取りつけ道路を整備する。

(6)庁舎のスタイルは、なるべく「いりもや」風に瓦ぶきとし重厚な感じとする。

(7)暖房はスチームとし、便所は水洗とする。

(8)町民相談室を設ける。

(9)建築工事費は本工事二千二百四十万円、附帯工事四百万円を見込む。

集団就職出発

中卒、町外へ四三%進学五二%

町内には〇、五%

今春松之山、浦田中卒業早朝上野駅で、それぞれの者の内訳はつぎのようになっているが、町外就職者百三十三名は(四三%)、二月の十八日から断続的に、縁故者や、工場案内人等にともなわれて、就職した。

三月二十四日には二十一名が松之山中学岡先生に引率されて出発、残一名は十二%となっている。

就職一三三。

進学者は一六一名で内松之山分校へ八七、町外高校へ七四、進学者の比率は五四一%となっている。

中学校卒業者総数三〇九名、内町民就職一、町外

農地被買収者等に対する給付金の請求について

終職後の農地改革で農地を一部歩道に買収された方及びその遺族に対して給付金が支給されることになりました。当町に於いても二百数十件の申請を受付し既に受付て居りますが、まだ請求の手続をされていない方は早急に農業委員会の

農地被買収者等に対する給付金の請求について

終職後の農地改革で農地を一部歩道に買収された方及びその遺族に対して給付金が支給されることになりました。当町に於いても二百数十件の申請を受付し既に受付て居りますが、まだ請求の手続をされていない方は早急に農業委員会の

次号予告

本紙第二十五号は六月十日に発行されます。ご寄稿を歓迎します。

柿寄りて語らうことも春の夢　小口竜風

県政刷新の要望書、給食婦賃金を町費で —請願採決

町議会第一日目元日の常任委員会で、県政刷新の要望書について、一部修正して採決した。

上、横に藤夫議員ほか二名から二万円の元年件にかかる県取の調査に対し、一部費負担について三名校の給食婦賃金の町費負担について、県政刷新の要望書」が提出された。

この取り扱いをめぐって意見がまとまらず、原案を一部修正して採決した。

また一学校給食婦賃金の町費負担について三名校区域で百四十四名から請願書が提出され、賛成陳述議員から趣旨の説明があって採決した。

町の事業計画の大要 —昭和41年度—

事業名	総事業費	内容のあらまし
①松之山小屋体新築	1,530万円	別項に記載
②浦田中ステージ改修	129	〃
③東川分校増築	218	〃
④役場庁舎改築	3,640	〃
⑤横川、鯉倉、越振改良	100	天水鳥地内延長180m巾4m
⑥鍋池宮中線	30	上池地内2.3m巾3.6m
⑦平野橋架替	200	18m巾3.6m(起債150万円)
⑧五十坪十日町線改良	500	五十坪～平野間866m(起債500万円)
⑨その他町道災害復旧	150	
⑩農地災害復旧	4,231	別項に記載
⑪農業用施設復旧	1,969	〃
⑫地区内移転補助	150	移転住宅補助(県補助100万円)
⑬矢業対策事業	428	町費矢対人夫17人賃金及びトラック更新35万円など(国補助267万円)
⑭改良整備	43	苗場人夫賃金及び机原木、サク材料費(県補助10万円)
⑮治林事業	57	見込、上村2カ所30ヘクタール(国補助57万円)
⑯和牛増殖補助	39	牛ハカリ購入15万円付補助12、乳牛導入列子補助12万円
⑰動搬機補助	105	共用動搬機70名に対し2分の1補助
⑱消防施設事業	110	小型ポンプ2台購入、防火用水溜補助など(国補助400万円)
⑲母子栄養強化	99	妊産婦、乳児ミルク配給各120人分(国補助66万円)
⑳インフルエンザ、結核予防費	60	予防注射代(国補助18万円)
㉑し尿処理センター	156	津南共同処理センター負担金
㉒商工観光助成	172	産業育成資金予託金100万円商工会助成12万円観光協会助成50万円

町の歳入うちわけ —昭和41年度—

項目	予算額	割合	内容のあらまし
①町税	2,415万円	9.6%	固定資産税2,415万 町民税415万 たばこ消費税440万円など
②地方交付税	8,900	35.4	国から交付されるもの
③使用料手数料	110	0.4	戸籍、転出証明手数料など
④国庫支出金	6,645	26.4	学校建築など各種事業に対する国の補助金
⑤県支出金	383	1.5	社会福祉事業母子保護世すべり移転家屋などに対する県補助金
⑥寄附金	2,525	10.0	土木事業等に対する地元負担金など
⑦町債	3,747	14.9	災害復旧、農地復旧、庁舎建築などのため町の借入金
⑧その他	418	1.8	
合計	25,143	100	

こばた　反当、六万一千山の収納（40年）

四十一年は価格を五・五七%引き上げ

のびりつ百七十六%

六町で新規導入して三年目となります。昭和四十年度に一の収納を完了しましたのについては、稀に見る異常気象でその概要をお知らせします。

たばこ作も他作目も同じく土壌、労働といった生産要素の他に気象、技術が加わり成り立つもので特に、たばこ作については、きわめて密約的にわれて来ましたが、最近農業構造が大きく変化しつつある現在たばこ作についても収益を合わせ省力を中心に労働報酬の増加をするよう、努めて参りました。新しい作目を水稲を基幹として、くみあわす場合、農家の大切な個人資産である刻はとかく軽視されがちで、その作目も価格の安定したもので短期に決算出来、資本投下も比較的安いものという事で導入しましたが三年間には種々問題点もありました。初年度耕作面積五反北沼和四十五度耕作面積五反北沼和四十五度において一三六%の伸率となり労働力の調和上に盛り上げます。昭和四十年度に比較四割増に達しました。

たばこ栽培畑

総収納代金千百三十一万円

収穫、乾燥期については比較的好天に恵まれ、収穫期において、稀に見る異常気象で多くの労力を要、又施肥、病の同上により品質について問題点もありました。

初年度は、風害、雹害、病害による病害虫の発生、一般作物の被害が多く、収穫期については、雨のため、収穫期については、雨のため、収穫期については、雨のため

出稼ぎの方もつ事の座談会

八里も九里も歩いも売り、だが不景気

町からは毎年一千人をも上まわる出稼者がある。出稼のあとは、家庭に残るおくさん達や、嬢さん達に日常の仕事の重みがずんと肩代りさせられる。出る者、残る者、いつの日からはじまったのか、おくさん達は「もう慣れつこだから」といって明るい。女だけが笑る心境だとも言う。

だが、いつにない不況だという便りに心を躍らせ、子供達の就職のことで、人の淋しさをやわらぐ感じさせられるこのごろ。

春の十二月二十三日、湯田支所で出稼の夫をもつ妻十七人の座談会を開きました。いろいろない女だけの話をお聞きいただきたい。

出席者　土人の出稼先

酉の間南家　東京そばや
上の山田二　〃
第四　保坂　三重県とび職
北福三　佐藤　東京都機工場
〃　小林　東京の工場
穂田　小金　〃　南製
〃　そばや　〃　そばや
湯の島竹内　〃　そばや
曽根公保四　〃　そばや
〃　いも売り
愛知県三建業
麻屋　東京製本工場
新田　田辺　〃
〃　石塚　東京いも売り
〃　浦田鄭家屋
〃　山丸山　奈良県に建築

「私の家ではそば屋をもう十何年もやっているが、手紙では今までにない不景気だといっている。インスタントに押されるそば屋だからどうなるかと思う」

「うちでは去年度収益負債して、そこではもう働けないので、今年はじめてそば屋へ……。」

「穂田の方々は、そばは売ってもうペテランばっかりです。しかし手紙はなかなかこない。だから子供は、『考えてみる必要がある』といいます。ゆくえ不明になったら困るというのです」……同感い。

「手紙を寄こさないのは景気がよくないからだと思う」

「三度も職場を変えてしまったので、失業保険に引っかからない心配もあるという人もいる」

「子供達も「出稼の旅費位はかせいでもらいたいね」といっています」

トビ職はエイ！

「私のところは、トビ職ですが三月までの仕事も手いっぱいだし、元気もまあ、くたびれていないっていいます」

女でないとわからない気持

「三人が出稼で淋しいということはないし、もう慣れっこということでしょうか。正直いって気楽です……」

――一同、同感です。

だからダラシなくなるみたい……」

……一同笑い……

「しかし破の時代にやはり淋しい。姑への気兼ねもあったり、年代によって違うと」

「いちばんに気楽だといってもいいのです。この気楽さに女でないとわからないと思う」

嫁の小使いは別封にして

「主人がいなければ正月の小使いも貰えない嫁さんは多いのではないか。送金してもおやじさん宛になってしまうから」

「だから主人が気をきかせてもらわないと困る。手紙の中に同封するなどしてほしいよ」

「お前の小使いだ」といって……」

よろめきの心配はない

「出稼中によろめく心配はない。だっていも売りに寄ってくる女なんていないでしょう？」

「人間二分、景八分という気持で働くんだそうです。そうでないと金にのこらないから……」

――一同、同感。

一番の心配はケガ、子供の就職相談のこと

「一番の心配は、仕事中のケガ、それから交通事故……」

「私は子供の就職のことで一番困りました。相談するものがないのです。子供は女親では頼りにならないというのか、だまって流していた。だから短期にも身が入らない……。就職のことなどは手紙ではなかなかうまく書けない」

「私は建設体験の手続きのことで困りました。主人の現場から役所までは遠くて用事も思うように足を運べないというし……」

「出稼者とのたまかい相談ごとなどをやれる方法を、町で考えてほしいと思う」

お前は幸福だかい……

ハツ子とする親

「私のところは、年中の殆出稼している。二人から、『お前は百姓が好きかい？』『幸福だかい？』と聞かれることがある。『ああ幸福だ』と答えながら、内心ハッとさせられることがある。

「一人で難儀をする母をみていて、子供もやはり淋しいと思っているのだろうか？」

「暮しづらくなったことでは、百姓も月給取りも同じなんじゃないか？収入と支出の追っかけっこですもの。薪が石油に代る、機械もだんだん便利なものに更新されるし……」

「出稼収入をあてで使って行くということはとても不安だとこの頃よく考える」

地元で働きたい

「湯田で土木工事もあるが女人夫は余り歓迎しない。しかし地元で工事があれば出たいと思う」

「去年パン背負いした人達は、ことしはみんなやめた。夏になってこの人達全部が笑者通いしなければならなくなったので、やはり無理がたたるのではないだろうか」

「依あみ位は自分の手で」

「松之山では張はやめたというが、湯田では命年も張ることが必要です。依あみ位は自分でやりたい。きれいに出来たとほめられればやはりうれしい」

「私は年の瀬迄で頑張りたいと思う。他にいい仕事もできないし……」

写真は当日の座談会

傾人達が、あつて一概にはいえない点もある。肥育管理についても伸せて検討を忘れないようにしなければ」

「など反省がおこなわれた」

なお新田部落では現在七部落肥育牛組合の組合員久保田年松さんほか一四名に兎口温泉で、反省会をひらいた。

一同は、農協の営農技術員から話を聞いたのち、一浦日農協では昨年四十年に百九十五頭の肥育牛を出荷したが、新年度は二百五十頭を目標にしている。二人一組で、主婦の手で飼いつづけるのは容易でないのでやめてやる者もいるが、育ち盛りの気持さえあればなんとか伸ばすことが出来るのではないか。

取益がどの程度出るかは十分の農家が肥育をおこなっており、一人で六頭を出荷する農家もある。

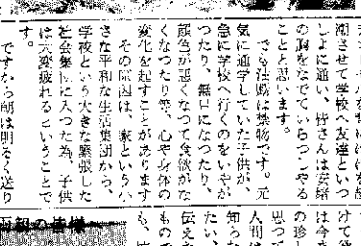
肥育牛反省会

――新田部落十四名か――

三月三十一日、猫山新田部落肥育牛組合員久保田年松さんほか一四名が兎口温泉で反省会をひらいた。

農協技術員から話を聞いたのち、一浦日農協では昨年四十年に百九十五頭の肥育牛を出荷したが、新年度は二百五十頭を目標にしている。二人一組で、主婦の手で飼いつづけるのは容易でないのでやめてやる者もいるが、育ち盛りの気持さえあればなんとか伸ばすことが出来るのではないか。

取益がどの程度出るかは十分の農家が肥育をおこなっており、一人で六頭を出荷する農家もある。



精神衛生相談所ひらく

四月一日から精神衛生相談所が大島保健所で行われていて、子供もやはり淋しいと思っているのだろうか？

「暮しづらくなったことでは、百姓も月給取りも同じなんじゃないか？収入と支出の追っかけっこですもの。薪が石油に代る、機械もだんだん便利なものに更新されるし……」

「出稼収入をあてで使って行くということはとても不安だとこの頃よく考える」

地元で働きたい

「湯田で土木工事もあるが女人夫は余り歓迎しない。しかし地元で工事があれば出たいと思う」

「去年パン背負いした人達は、ことしはみんなやめた。夏になってこの人達全部が笑者通いしなければならなくなったので、やはり無理がたたるのではないだろうか」

「依あみ位は自分の手で」

「松之山では張はやめたというが、湯田では命年も張ることが必要です。依あみ位は自分でやりたい。きれいに出来たとほめられればやはりうれしい」

「私は年の瀬迄で頑張りたいと思う。他にいい仕事もできないし……」

写真は当日の座談会

部落肥育牛組合の組合員久保田年松さんほか一四名に兎口温泉で、反省会をひらいた。

農協技術員から話を聞いたのち、一浦日農協では昨年四十年に百九十五頭の肥育牛を出荷したが、新年度は二百五十頭を目標にしている。二人一組で、主婦の手で飼いつづけるのは容易でないのでやめてやる者もいるが、育ち盛りの気持さえあればなんとか伸ばすことが出来るのではないか。

取益がどの程度出るかは十分の農家が肥育をおこなっており、一人で六頭を出荷する農家もある。

五月八日は新潟県知事の選挙投票日

四月一日から精神衛生相談所が大島保健所で行われていて、子供もやはり淋しいと思っている。

ご相談になられる場合は保健所に又は、役場厚生係経由でご利用下さい。

一、日時　毎月第三火曜日
十三時～一五時
二、担当者　高田西城病院
医師
三、対象
(1)前に受診して医療をすすめられたがそのままになっている者或はその家族
(2)診療をうけたことのない難病障害者と思われる者あるいはその家族。
(3)乳幼児検診の結果等により精神的に問題があると認められる者。
性格や行動が心配な子供あるいは知恵おくれ、ひきつけ等のある子供。
自分の性格について悩んだり精神的な不安があって日常生活にさしつかえるような者。
以上のほか精神の健康について気軽にご相談においで下さい。

子供さんの小学校入学を心からお祝い申します。

この五月が皆さんのお手元に届く頃は、子供さんはランドセルを背にはきを配置させて学校へ友達といっしょに通い、皆さんは安堵の胸をなでていらっしゃることと思います。

さる法廷は禁物です。元気に通学していた子供が、急に学校へ行くのをいやがったり、無口になったり、顔色が悪くなって食欲がなくなったり等、心身の変化を起すことがあります。

その原因は、家というハさな平和な生活集団から、学校という大きな緊張した社会集団に入った為、子供は大変疲れるということです。

ですから親は別さて送り出し、帰宅後は優しく迎え十分な栄養や休養や睡眠を与えることが大切です。

だからといって大事にし過ぎてもいけません。子供の心身の状況をよく観察し自主性をそこなわないように注意することが大切です。

そうです、思い出しました。小学生になったと同時に赤ちゃん扱いはやめましょう。家の者全体が、かんたんなことでも子供の意見をきいてやり、こい意見の時はきいたりいれて下さい。

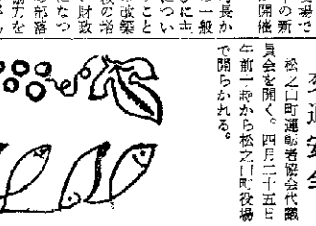
反面自分のいったことや行ったことは何を言ったの？などと子供にいって一人まえに扱うようにしたいものです。

学校というとすぐに勉強を考え、勉強というとすぐに教科書を考えます。一年生位の子供は、毎日の遊びの中でも、つぎつぎと新しいことを知り勉強していきますから、子供の遊びを大切に、毎日を楽しくすごさせる工夫をしてやりたいものです。

そしてその中で教科書による勉強をすこしづつ加味してやっていく習慣をつけて欲しいと思います。

新学期ばりには勿論外は禁物です。特に一年生位の子供には特別な事情の時以外は多少無理があっても身につくまで根気よくやらせることが、よい習慣作りの基本です。この時代に作られたよい習慣は子供の生活の宝になりましょう。

よい習慣として、親子で話合うことをこの時期につけて欲しいものです。子供は今までに経験しない多くの珍しい問題も知らないと思っている経験をします。人間は新しい経験や、人の知らない経験を他人に話したい、誰に最も愛する人に伝えたい本能を持っているものです。多少うるさくても、忙しくても我慢して、



新入学児童をもつ両親の皆様へ

松之山小学校長　相沢喜敏

この子供の全能を満足してやることによって、子供は母親の学校生活を豊なものにし、親子の心の温い交流が為されると思います。

といって何日待まつて一きよりは何を言ったの？と教科書の勉強にこだわった証合いになるく、子供は話し何して遊んだの、面白かつてくれません。一きようは「はい」という言葉に、遊びを中心とし、その中に教科書の勉強を適度に折り込んだ話合いにしたいものです。

忘れてはならぬ事は、大切なことを忘れるところでした。それは子供の前で先生を批評しますと、先生を信頼しない子供になり教育がうまくできなくなります。又他所の人に、子供のいる前で「この子は勉強ができなくて困ります」などといいますと、子供は自信を失い劣等感をもつてしまいます。なお「勉強しない」と（そんなに悪い子だと）先生にいいつけますよ」と先生に依存した叱り方をしますと、学校嫌いになります。

終りは手前みそになりましたが、大切なことなので書きました。何事も始めが肝心です。これからの長い学校生活を豊かにしてやるために、入学後二月位格別の教育的配慮を御願いします。

――

四月十六日午前九時から町役場で昭和四十一年の新部落総代会が開催された。

席上佐藤町長から新年度町の一般会計予算並びに主な事業計画についてお説明があり、ついで役場二課の成瀬及び十小学校の各要望などについて苦しい財政の中で実施することになっているので協力を始め部落民各位から特段の御協力をお願いしたい旨の挨拶があった。

新部落総代会開く

松之口　山井茂勝
樋口　玉利
塩口　正武
山岸　恵雄
新田　水梨
公間　兎口
大芝　右
蔵沢　利一
下山手　志賀　幸一
上山手　村山　正民
湯口　小野塚義栄
湯本　村山祝太郎
天水越　佐藤　秀一
天水島　高橋　定安
中坪　小野塚銀次郎
若月又吉　鳴倉
中尾　高橋　隆一
東川　小野塚辰平
上願地　小野塚吉蔵
宇賀地　鈴木新三
五十子平　蒲井政信
坪野　村山吉太郎
赤倉　村山昭二
本山　渡辺虎雄
藤原　佐藤春一
曽根　本山一平
滝島　久保田年松
新田　丸林　学
村山　三
中立山　田麦平
月地　木山辰二
坂　中　志賀金作
駒田　竹内徳義
樋口　中条悦子
北間田　本山春吉
百ノ前　本山伊蔵
熊倉　奈良善雄
上の山　赤岩浜一郎
佐藤吉二

交通安全

松之口町通島著協会代議員会を開く。四月二十五日午前一時から松之口町役場で開らかれる。

昨年の稲作反省と新しい計画

農業改良普及員　樋口重雄

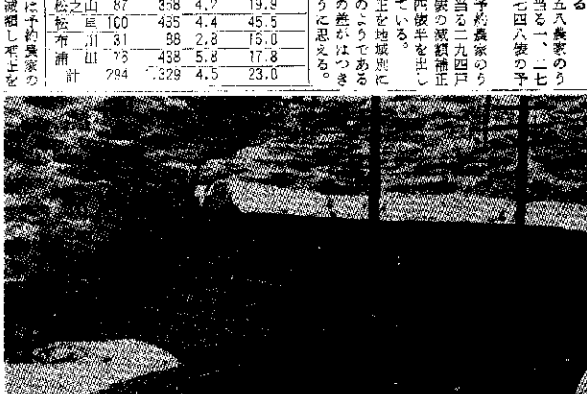
前号においては主として品種や水稲被害について考えて見たが昨年は特に高温地において、七月感温と植付延による冷害気象が強く出て被害を大きくしている。

作柄の悪いのは異常気象のみでない

このように気象との関係は深く、その年の豊凶を左右する重要な要素であることには間違いないが、ただそれのみに拘泥することは今日の技術革命の世にあって進歩を阻害する要因ともいえる。そこでその原因を今少し突込んで考えて見る必要があると思う。近年とかく農業というものの見方を斜陽産業視されているが他産業との較差をどう調整するかということでなく頭から「農業は駄目」だと考えるとなるとこの感覚の考え方が行動となって現われ省力一のみに走り、農外収入が稼作より安定産業かのように誤解する向もあるようというものである。現在の社会状勢の中で止むを得ないとする考えもあるが今少し農業で起つ心構えに踏切ることが稼作を安定化する第一歩であろう。

三ヶ月農業といえば土曜農業といわれる現在の農業労力の面からしても作付の遅れ、人まね農業、適期適作業のバラ撒きなどが平年度であっても作況低下を起こす大きな原因と考えられ、昨年の不作が異常気象のみに責任転嫁して諦めている傾向にあるが、もっと技術対策の不足からと反省し再び不作の轍を踏まないようにしたいものである。

予約農家の二三%が減額



苗代いそぐとき　　天水で写す

補正している

町内、六五八農家のうち約三二%に当る一、二七九戸が三〇、七四八俵の予約をした。

しかしこの予約農家のうちの二三%に当る二九四戸が、三二九俵の減額補正をし一戸平均四俵半を出したに過ぎない。

この減額補正を地域別に見ると第一表のようであるが地域別にその差がはっきり出ているように思える。

第1表　40年産米農協別減額補正

区分	予約農家戸数	予約数量	減額農家戸数	減額数量	補正後減額農家戸数	補正後減額数量
	戸	俵	戸	俵	戸	俵
松之山	87	398	4.2	19.9		
松代	160	435	4.4	45.5		
布川	81	88	2.8	15.0		
浦山	73	438	5.8	17.8		
計	794	7,329	4.5	23.0		

即ち松代では予約農家のうち四五%が減額し平均三俵を受けておりその量は一戸平均二三俵の予約のうち約四俵を占める。浦山では一戸平均二八俵の予約のうち約六俵の減額をしている。

次に稲の予約者は三〇%を割り直ちに種子消毒に移行しているが、一〇リットル当りにリオゲン液を五銀を溶かして別にまた個人別に感染の有無その口に袋ごと種液を入れるが、その際袋を浮き沈めして種液についている気泡を良くおとしてやることが大切である。

こうして八～一〇時間浸液に浸けたら七～一〇日ごろ上に取り出して水洗を行う。稲籾の水洗は手間が掛かるので特に作付面積の多い農家は床ごと水に浸すのが良いと思う。

水洗が終ったら、床の踏み込み作業に移る。床の踏み込みは、床の踏み過ぎは発芽不良の原因となるので特に注意する。

床の踏み込みが終ったら、床の表面に苗代には床土の表面に肥料の表面地肌は「肥やけ」を起こすので注意したい。

昨年も稲苗の苗代出し作業で苗代の苗を作った例があったが未然に防止したいものである。

苗の種床を適期に播種することは、早取でもある。発芽直立のみに気をとられて、早取りをされて厚播の傾向があるが、苗代の苗が良い苗を生産するためには「坪当一、五合播」を奨めたい。この場合、当然従来より苗代面積を拡張しなければならないが、こんなところに稲作業に遅れをきかせないために、稲作の多く出るところは粒重が軽く見かけより米がないが、こんなところに稲作業に遅れて面代管理がおろそかになるが時れた日は泊板の上に水を張ることを忘れてはならない。苗代の末期ともなると葉数を増し密生してくるので通風や光の透りも悪くなり今まで健康であった苗が軟弱化し「いもち病」に対する抵抗力は弱まってくるこの病を見計って薬剤散布による予防を怠ってはならない。具体的には苗とりの五日前頃、殺菌剤の次銀剤か若しくは殺菌、殺虫の混合剤を本田に出したい。こうして苗代では金には念を入れて育成してやることが秋の豊作を約束する。一枚の苗代で平日余計な手間をかけても必らずや秋にはその報いが倍か何一倍かになって返ってくる。

(2)作柄の安定は耕土培養から

数年の作りかえにより土中の鉄、珪酸、マンガン、マグネシウムなどの成分が抜けこれを放っておくと老朽化が進みその結果、根腐れしやすくなり病害虫にかかりやすくなり収量があまり上らなくなってくる。

客土はこうした点を考慮して種数についている気泡を良くおとしてやることが大切である。

客土はこうした目的を若干でもなるべく多くの目的をもって実施されて来たが最近はその姿が強んど見られない。昔の頃に「客は肥料で米は土で」とれ」とあるが土作の必要性を強調している。しかし近年過剰期の生産はめつき低下傾向の中で客土の上、長期間の他感欲にも乏しくなっている。化学肥料（金肥）をそれ程多量に使わなくても収穫（タエ）が出る点にあるのだろうか？

客土した作物を早れたものは二の刀が効かず不安定な作物になるのは客土の作物の条件で、にもまた増収するためにも耕土深度の拡張は必要である。こうした現在日本の一ヘ数を反当一二俵位投入することが第一病気を予防する。

(3)種数の確保で計画栽培を

稲作の収量を決定づける大きな要素は種数と穂重である。昨年は薄播に田植が遅れたために種数が不足し病気にかからなくてもそれ程の収量を収めなかったことを反省しなければならない。地力復旧等で差植する場合当然管理幅はなければ本田での分けつはんしたら稔特もしない。このため穂数が足りないが倍か何一倍かになって返ってくる。

(4)作柄の安定は耕土培養から

数年の作りかえにより土中の鉄、珪酸、マンガン、マグネシウムなどの成分が抜けこれを放っておくと老朽化が進みその結果、根腐れしやすくなり病害虫にかかりやすくなり収量があまり上らなくなってくる。

客土はこうした目的を若干でもなるべく多くの目的をもって実施されて来たが最近はその姿が強んど見られない。昔の頃に「客は肥料で米は土で」とれ」とあるが土作の必要性を強調している。しかし近年過剰期の生産はめつき低下傾向の中で客土の上、長期間の他感欲にも乏しくなっている。化学肥料（金肥）をそれ程多量に使わなくても収穫（タエ）が出る点にあるのだろうか？

客土した作物を早れたものは二の刀が効かず不安定な作物になるのは客土の作物の条件で、にもまた増収するためにも耕土深度の拡張は必要である。こうした現在日本の一ヘ数を反当一二俵位投入することが第一病気を予防する。

(5)水稲被害は乗然防止で

村山健次郎さんは、二月六日を以って退職し、松之山地区すべりのため家族と共に、柴長へ転住することになりました。同氏は役場総務課長に栄転の為、昭和三十年自治功労表彰をうけました。

農業改良普及員の異動

新任本間六弘（22才）

三島郡和島村高崎出身

今まで松之山町で活躍された高橋海運さんは、郷里に近い北蒲原郡中条地区農事改良事務所に転任になりました。（写真は高橋海運氏）

新任相沢吉春（29才）

松之山町小谷出身

今まで西頸地区の主婦であった佐藤謙治さんは満十八日間をつとめ、三月末退職されました。

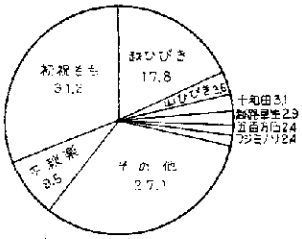
防し徐実を良くするので増収は確実である。

またゴマ葉枯の多く出るところは粒重が軽く見かけより米がないが、こんなところに珪酸石灰が有効である。堆肥資材がどうしても不足の場合「アズミン肥料」を堆肥と併用することにより反当一〇キロの施用で堆肥六〇〇～八〇〇キロに相当する効果があるという。

籾殻工が減少し堆肥をつくる原料も増えているが家畜の腹をとおして厩肥作りをやる。その際に「コロナース」を使用すれば熟期を進み効果的である。

この世から「いもち病」を無くしたらと考える人もあると思うが、初音もちなど新しく奨励品種に編入されたものをも侵すようになった。

然しいもち病には変りがないので現在取扱われている農業には莫大な殺菌力があるから薬いもち病の場合は出初めたらすぐに強いもちはあくまでも予防散布をすることで撲滅出来る。こう考えてくると品種の特つないもち抵抗性は当てにならないということで品種の適信は思わぬ被害を招く場合があり常に心がけて田圃を見て考え直し、頑り適切な処置を怠らずに、やることが笑顔で秋を迎え、感謝しあい、協力しあって明るい家庭を築くために「土に生きる農家の宿命」で各家庭の家族全員での話し合いをみんなで考えるようつとめましょう。



第3表
坪当り株数と間隔（寸）

| BO株 | | |